

今年も、7月14〜15日に「もひとり神事」が行われました。頂上では大荒れの天気となりましたが、無事に神事は行われました。両日とも平日だったので、例年よりも参拝者は少なめでしたが、関西方面からの参拝者もあり、今も昔も変わらぬ信仰の厚さに驚かされました。

① 7月14日、夕闇迫る
大神山神社奥宮



② 午後7時、夕祭。いよいよもひとり神事は始まる。



③ お籠もり。人々は各自で食事を持ち寄り、車座になりお酒や料理を気さくに振る舞い合う。夜が更けるまで、語り明かされる。宮司の神話が印象的でした。



④ 午前1時30分、派遣祭。正使、副使、先達、強力達が大山に登るよう命を受ける儀式。前には背負子せおこにくくり付けられた桶おけ、祭具、朝食が置かれている。



⑨ お水取り。石室前の池から、聖なる水は取られる。ガスが掛かり幻想的な雰囲気の中、行われた。



⑤ 午前2時、いよいよ闇の中を大山頂上を目指して出発する。今年是一般参加者を含め17人でした。



⑥ 大山登山道7合目付近。いつしかガスがたちこめ、風が強まりました。



⑦ へ

⑧ へ